※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０３

令和８年度　公民科

教科	公民科	科目	政治・経済	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　政治・経済」　（第一学習社）						
副教材等	最新政治・経済資料集　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

政治・経済は生きた科目です。
政治も経済も人々の営みですから、予想が難しいことや、議論となっている点、矛盾などがあります。その中で、人々がよりよい社会を作るために発見し、あるいは作り上げた原理原則の中でも重要なものが政治経済の教科書で紹介されています。

2　学習の到達目標

・民主主義の本質について理論的・体系的に理解する。
・現代の政治，経済，国際関係などについて客観的に理解するとともに，現実の情勢を主体的に探究する態度を身につける。
・現代経済のしくみを基礎的な経済理論の観点から理解するとともに，国民経済の動向および，政府の役割と日本経済が抱える課題などについて考察する。
・国際社会の現状と諸課題について理解し，国際社会に生きる日本の役割について考察します。
以上の理解や考察を踏まえて，良識ある公民としての必要な能力と態度を身につけます。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題を把握し，説明するとともに，身に付けた判断基準を根拠に構想する力や，構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断している。	よりよい社会の実現を視野に，国家及び社会の担い手として，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	日本国憲法と現代政治のあり方	①政治と法の意義と機能 ②法の支配と立憲主義 ③基本的人権の保障と日本国憲法 ④現代社会における新しい人権 ⑤権利と義務との関係 ⑥議会制民主主義と世界の政治体制 ⑦国会の組織と立法 ⑧内閣の機構と行政 ⑨裁判所の機能と司法制度 ■諸課題へのアプローチ「現代政治のあり方」	a:政治や政治権力の意味とその役割について，理解している。 a:法の支配や立憲主義の意味と意義について，理解している。 b:国家の統治原理として，法の支配や立憲主義を確立することの大切さについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 a:基本的人権が確立した背景や経緯について，理解している。 b:個人の尊重や憲法によって保障されている自由や平等について，多面的・多角的に考察し，表現している。 a:新しい人権が主張されるようになった背景や，新しい人権の具体的内容について，理解している。 a:人類は人権保障に向けてどのように努力してきたか，理解している。 b:権利と義務との関係について，多面的・多角的に考察し，表現している。 a:民主政治の考え方と，議院内閣制や大統領制の特徴について，理解している。 b:よりよい民主政治のあり方について，多面的・多角的に考察し，表現している。 a:国会の地位と構成について，理解している。 a:法律はどのようにして成立するのか，理解している。 b:国会の課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。 a:日本の内閣と国会の関係について，理解している。 a:内閣総理大臣と内閣の権限について，理解している。 a:司法権の独立と日本の裁判制度について，理解している。 b:日本国憲法と現代政治のあり方との関連について，多面的・多角的に考察し，表現している。 c:「日本国憲法と現代政治のあり方」について，公正な社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査	授業態度 振り返りシート レポート

※令和４年度以降入学生用

	望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方	①地方自治制度と住民の権利 ②政党政治と選挙 ■諸課題へのアプローチ「主権者としての政治参加のあり方」	a:地方自治の本旨の意味と日本の地方自治制度について，理解している。 b:地方自治における住民の権利と住民運動の意義について，多面的・多角的に考察し，表現している。 a:政党の意義と役割について理解している。 b:日本の政党政治や選挙の課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。 b:望ましい政治のあり方および主権者としての政治参加のあり方について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c:「望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。			
	市場経済の機能と限界	①経済活動と市場 ②経済主体と経済循環 ③国民経済の大きさと経済成長 ④物価と景気変動 ⑤市場の失敗と公害･消費者問題 ■諸課題へのアプローチ「外部不経済の内部化の方法」	a:経済の役割と，市場経済における人々の選択について，理解している。 a:資本主義経済の特質とその変容について，理解している。 b:価格はどのようにして決まるのか，具体的な市場を取り上げて多面的・多角的に考察し，表現している。 a:三つの経済主体の活動と，経済循環における役割について，理解している。 a:株式会社のしくみと株主との関係について，理解している。 b:企業の社会的責任のあり方について，多面的・多角的に考察し，表現している。 a:ストックとフローの概念や，ＧＤＰなどの指標について，理解している。 a:経済成長率における名目と実質の違いや，経済成長の要因について，理解している。 a:インフレとデフレの原因と影響，景気変動のしくみについて，理解している。 a:物価や景気の変動に対する政府の施策について，理解している。 a:さまざまな市場の失敗の事例と，その弊害について，理解している。 a:公害と消費者問題に対する施策について，理解している。 b:自立した消費者としてどのような行動をとるべきか，多面的･多角的に考察し，表現している。 b:市場の機能と限界や解決のあり方につい			

※令和４年度以降入学生用

			て，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c:「市場経済の機能と限界」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。			
2	持続可能な財政および租税のあり方	①財政のしくみと租税の意義 ■諸課題へのアプローチ「持続可能な財政を実現するための税制のあり方」	a:財政の機能としくみについて，理解している。 a:租税の種類やその特徴について，理解している。 b:財政における国と地方の役割分担について，多面的・多角的に考察し，表現している。 b:持続可能な財政のあり方を多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c:「持続可能な財政および租税のあり方」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査	授業態度 振り返りシート レポート
	金融を通した経済活動の活性化	①金融のしくみとはたらき ■諸課題へのアプローチ「資金の流れと起業における資金調達のあり方」	a:金融のはたらきと金融機関の役割について，理解している。 a:日本銀行の金融政策とその影響について，理解している。 b:現在の金融をめぐる動向とその課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。 b:金融を通した経済活動の活性化のしくみやあり方を多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c:「金融を通した経済活動の活性化」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。			
	経済活動と福祉の向上	①日本経済の変化と中小企業・農業問題 ②労使関係と労働問題 ③社会保障制度と福祉のあり方 ■諸課題へのアプローチ「格差の理由とその対策」	a:日本経済における産業構造の変化について，理解している。 a:現在の日本経済の現状と課題について，理解している。 b:日本の中小企業や農業経営者が直面している課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。 a:労働三法の内容について，理解している。 b:現在の日本の労働問題や，労働環境をめぐる課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。 a:日本の社会保障制度について，理解している。 b:日本の社会保障制度の課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。			

※令和４年度以降入学生用

			b:経済活動と福祉の向上との関連について，多面的・多角的に考察し，表現している。 c:「経済活動と福祉の向上」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。			
	現代日本の諸課題の探究	［選択］1 少子高齢社会における社会保障の充実・安定化 2 地域社会の自立と政府 3 多様な働き方・生き方を可能にする社会 4 産業構造の変化と起業 5 歳入・歳出両面での財政健全化 6 食料の安定供給の確保と持続可能な農業構造の実現 7 防災と安全・安心な社会の実現	b:社会的な見方・考え方を総合的に働かせ，他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる現代日本社会の諸課題を探究する活動を通して，取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察，構想し，よりよい社会のあり方についての自分の考えを説明，論述している。 a:諸課題の探究にあたって，日本社会の動向に着目したり，国内の諸地域や諸外国における取り組みなどを参考にしたりしている。 c:取り上げた課題について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決し，合意形成や社会参画に向かおうとしている。			
	国際法の果たす役割	①国際社会の変遷 ②国際法の意義 ③国際機構の役割 ④国際紛争と軍縮への取り組み ■諸課題へのアプローチ 「国際法の役割と課題」	a:21 世紀以降の国際社会の動向について，理解している。 b:国際社会の多極化や国際協力について，多面的・多角的に考察し，表現している。 a:国際法と国内法の違いや，国際法の種類や特徴について，理解している。 a:さまざまな国際裁判とそのしくみについて，理解している。 b:領土問題などの国際紛争の解決のあり方について，多面的・多角的に考察し，表現している。 a:勢力均衡と集団安全保障の違いについて，理解している。 a:国際連合の機能と主要機関の役割について，理解している。 b:今日の国際情勢の変化を受けて，国際連合はどのような役割を強化するべきか，多面的・多角的に考察し，表現している。 a:国際紛争はどのような原因で起きるのか，理解している。 a:紛争当事者の変化や，平和的解決のため			

※令和４年度以降入学生用

			の取り組みについて，理解している。 b:核兵器廃絶のために，どのような努力がなされてきたのか，多面的・多角的に考察し，表現している。 b:国際法の果たす役割について，国際社会の特質や国際紛争の諸要因と関連付けて，将来，国際社会においてどのような制度やしくみを作っていくことが必要か，多面的・多角的に考察し，表現している。 c:「国際法の果たす役割」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。			
3	国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役	①日本の安全保障と国際貢献 ■諸課題へのアプローチ 「日本の国際貢献のあり方」	a:平和主義の理念と日本の防衛政策の関連について，理解している。 a:日米安全保障協力の変化と自衛隊の海外派遣について，理解している。 b:国際社会において日本がこれから果たすべき役割について，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c:「国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査	授業態度 振り返りシート レポート
	相互依存関係が深まる国際経済の特質	①貿易の現状と意義 ②国民経済と国際収支 ③為替相場の変動 ④国際協調と国際経済機関の役割 ■諸課題へのアプローチ 「国際経済の現状と課題」	a:比較優位の考え方や国際分業の利点について，理解している。 b:現在の世界と日本の貿易の現状と動向について，考察し，表現している。 a:国際収支統計の基本的な構成について，理解している。 b:国際収支の動向をもとに，日本の対外経済取引の現状について，考察し，表現している。 a:変動相場制における為替相場の決定のしくみについて，理解している。 a:日本の対ドル為替相場の推移と，日本経済の動向について，理解している。 a:さまざまな国際経済機関の役割や課題について，理解している。 b:地域的経済統合やＦＴＡ・ＥＰＡの意義と課題について，考察し，表現している。 b:国民経済と国際経済の関係において，国益と地球的な規模での協調が求められている現状と問題点について，多面的・多角的に考察，表現している。 c:「相互依存関係が深まる国際経済の特質」について，よりよい社会の実現を視野に，現			

※令和４年度以降入学生用

			代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。			
	国際経済において求められる日本		a:国際経済における日本の地位について，理解している。 b:国際経済の安定と成長のために果たすべき日本の役割について，考察，構想し，表現している。 c:「国際経済において求められる日本の役割」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度